

## 2)工学部優秀教育者表彰(ティーチングアワード)

### I 基本方針

優秀教育者表彰(ティーチングアワード)は平成13年度に始まり本年度で12回目である。学生に良かったと思われる授業を投票させ、その結果を基にして各学科より表彰対象となる授業担当教員を選出し工学部として表彰するものである。その目的は、教育に対する教員の功労をたたえる目的に加え、「学生・教員相互触発型授業検討会」を通して優れた教育法についての情報を他の教員に伝えることにより全体的な教育の質のレベルアップを計ることにある。

教多くの教育者へ受賞機会を与え、教育質向上の取り組みをエンカレッジすることや、過去10年間の受賞傾向を分析し、1年次または2年次開講の選択必修科目または自由選択科目について賞を授与する仕組みを考慮するなど、必ずしも投票方法を随時変化させながら、行ってきた。

平成22年度第10回までの受賞者調査により、必修科目担当者の受賞率が比較的高いことが明らかにされている。そこで平成23,24年度は、必修科目とそれ以外の科目(選択必修科目、推奨科目および自由選択科目)を担当するそれぞれの教育者を別々に選考する新規方法で実施された。今年度は本質的な変更は加えず、基本的に前年度を踏襲するが、推薦科目数を2から3に改めた。

### ii.実施内容

#### 投票対象の学年および授業科目について

対象学年を1~3年生とする。また、対象授業科目は、平成25年度受講した工学部開講科目(非常勤講師が担当する授業も含む、再履修科目か否かを問わない)とし、教養教育の授業を除くこととする。

#### 投票及び評価方法

事前に各学年の学生が最も集まる授業を調査し、1月中旬~下旬に行われるその講義時間の終了10分前に投票を行う。

投票における評価方法については、得られた得票数をその講義科目の受講者数(再履修者を含む)で割った得票率を、各学年の対象講義科目数でかけた評点を導入して評価する。

なお、その科目の受講者数(再履修者を含む)は、SOSEKIのデータをそのまま利用する。

対象学年:工学部1~3年次学生

評価方法:評点 = ((得票数) / (その科目の受講者数)) × (その学年での開講科目数)

投票方法:推薦する3科目を選択。必修科目やそれ以外の科目に関わらず自由に3科目を選択。科目の重みづけはない。

投票日時:平成26年1月14日(火)~24日(金)で最も学生の集まる授業時間

投票時間:授業終了10分前から実施

表彰候補科目:今年度受講した工学部開講科目中、最も良かった必修科目およびそれ以外の科目( )の授業クラス単位に対し、それぞれ1位のみ。

それ以外の科目:選択必修科目、推奨科目および自由選択科目

#### <今年度の変更点>

投票時は、推薦する3科目を選択する(平成23年度までは1科目,平成24年度は2科目)。

#### <表彰候補科目の扱いは平成23年度に変更したものを踏襲>

工学部開講科目中、最も良かった授業クラス単位に対し、各学科原則1科目(情報電気電子工学科では2科目)選出する。

ただし、前年度表彰科目の連続受賞、あるいは1~2年次選択必修または自由選択科目の上位ランキング入りが生じた場合、その点を考慮して1科目(情報電気電子工学科は2科目以内)追加選出することができる。

### III.実施スケジュール

平成25年

12月13日(金)

ティーチングアワードの対象科目、実施予定日調査依頼提出、TA学生(院生)報告締め切り

平成 26 年

1月6日(月) ティーチングアワードの広報開始 ポスター・委員長名でのメールでの案内

1月10日(金) 予定 TA 学生担当者(大学院)への説明会

**1月14日(火)~24日(金) 投票期間 各学科、各学年(1~3年)必修授業において投票**

1月27日(月・仮) 開票・FD委員会 TAと委員全員で集計

集計結果を元に、学科に持ち帰って候補者の選定 → FD委員会 → 教授会へ報告

5月2日(予定) 優秀教育者表彰式および学生・教員相互接触型授業の検討会

IV. 受賞結果

平成25年度工学部ティーチングアワード（優秀教育者表彰者）

学科名	物質生命化学 学科	マテリアル 工学科	機械システム 工学科	社会環境工 学科	建築学科	情報電気電 子工学科	数理工学 科
氏名 (職名) 「講義 名」 学年/受 講形態  選考 理由	<b>新留 琢 郎</b> (教授) 「バイオテ クノロジー」 3年/必修 <b>選考理由</b> 評点が12.5 点で二位科 目9.2と大き な差がある ため。当該 科目は今回 初めての受 賞。	<b>山崎倫昭</b> (准教授) 「腐食と電気化 学」 2年/必修 <b>選考理由</b> 投票による評価 点が最上位で あった。今回は 3回目の受賞。  <b>安藤新二</b> (教授) 「格子欠陥学」 2年/必修 <b>選考理由</b> 投票による評価 点が2位であ り、連続する3 年の講義も3位 であったので、 同等に評価され るべきと判断し た。今回は初め ての受賞。	<b>岩井 善太</b> (非常勤講師・ 名誉教授) 「振動工学」 2年/必修  <b>宗像 瑞恵</b> (准教授) 「流体力学第 二」 2年/選択必修 <b>選考理由</b> 実施要領に 従って評価し、 上位2名を学科 教室会議で選 出した。	<b>星野 裕司</b> (准教授) <b>葛西 昭</b> (准教授) 「社会基盤 設計」 3年/自由 選択 <b>選考理由</b> アンケートの評 価点が1位とな ったため。  <b>田中 尚人</b> (政創研・准 教授) <b>円山 琢也</b> (政創研・准 教授) 「社会環境 工学セミナー」 3年/自由 選択 <b>選考理由</b> アンケート2位 であり、1位の 科目が前年度 受賞であったた め。	<b>川井 敬二</b> (准教 授) <b>長谷川 麻子</b> (准教 授) <b>高田 真人</b> (助教) 「建築環 境工学演 習」 3年/自 由選択 <b>選考理由</b> 評価点が1 位となった ため。  <b>桂 英昭</b> (准教授) 「建築設計 演習第四」 3年/必 修 <b>選考理由</b> 評価点が2 位となった ため。	<b>坂田 聡</b> (助教) 「基礎数学 演習 第一(A 組)」 1年/必 修 <b>選考理由</b> 獲得ポイン トが3位で あり優秀と 判断した。  <b>中村 有 水</b> (教授) 「量子力 学」 3年/自由 選択 <b>選考理由</b> 獲得ポイン トが1位で あり優秀と 判断した。  <b>ジェフリ ー, モロー</b> (非常勤講 師) 「英語 D1」 3年/必 修 <b>選考理由</b> 「英語 D1」 において獲 得ポイント が1位であ ったため。	<b>千葉 周 也</b> (講師) 「情報数学 第一」 2年/選択必 修 <b>選考理由</b> 獲得ポイン トが1位で あり優秀と 判断した。